

MammoRead DataManager システムの終了／起動方法

本手順書は、MammoRead DataManager におけるシャットダウンから起動までの手順を示したものです。

ご施設様に導入されている構成により、その手順が異なる場合があります。

ご不明な点は当社サポート (TEL:03-3245-1351 / mail:medical@toyo.co.jp) までお問い合わせください。

<システム終了方法>

1. DataManager に対して、MammoRead クライアント端末、モダリティがアクセスしていないことを確認します。

※ 画像データ転送中または受信中に DataManager を終了すると、画像データが破損したり、予期せぬ不具合を
起こしたりすることがあります。必ず、MammoRead クライアント端末やモダリティから DataManager にアクセス
されていない状態で、下記手順を実行してください。

※ システムシャットダウン後は、システム再起動まで DataManager へアクセスしないようご注意ください。

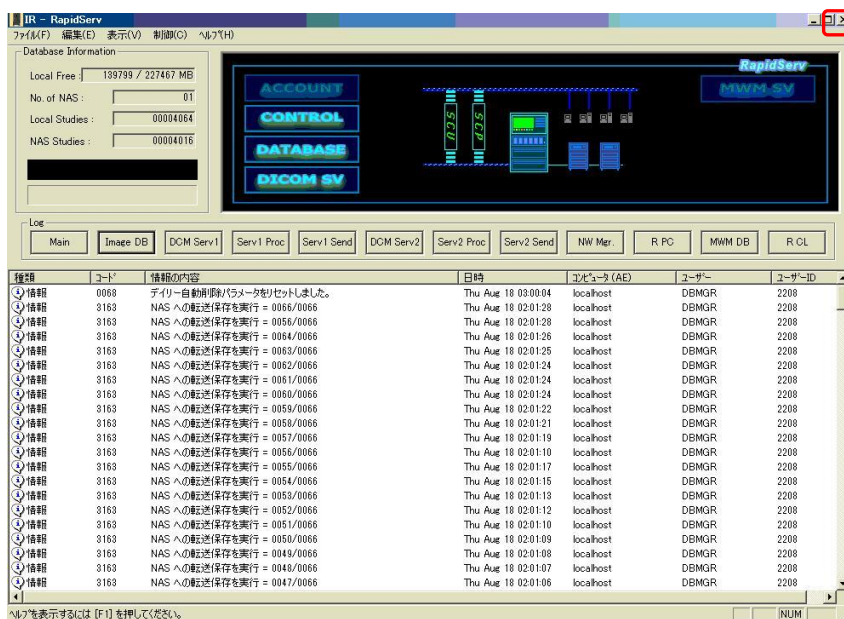
2. DataManager 端末に接続されているモニタを参照します。

※ ログオン画面が表示されている場合は、キーボードの [Ctrl+Alt+Del] を押下し、パスワードを入力して
デスクトップ画面を表示してください(※パスワードはシステム管理者までお問い合わせください)。

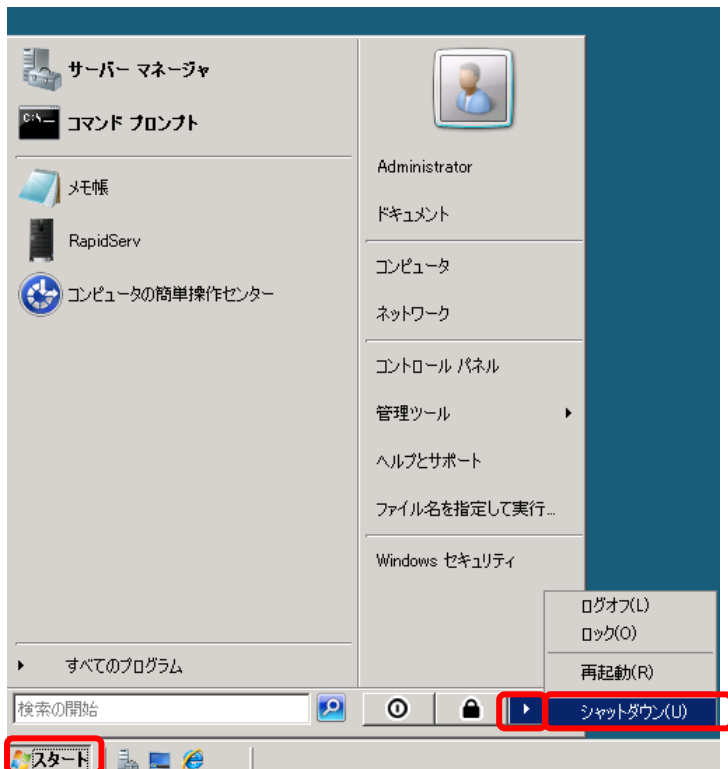
3. “RapidServ” というアプリケーションが起動していますので、画面右上の [×] をクリックし、アプリケーションを
終了します。

※ 終了には数秒から数十秒かかります。

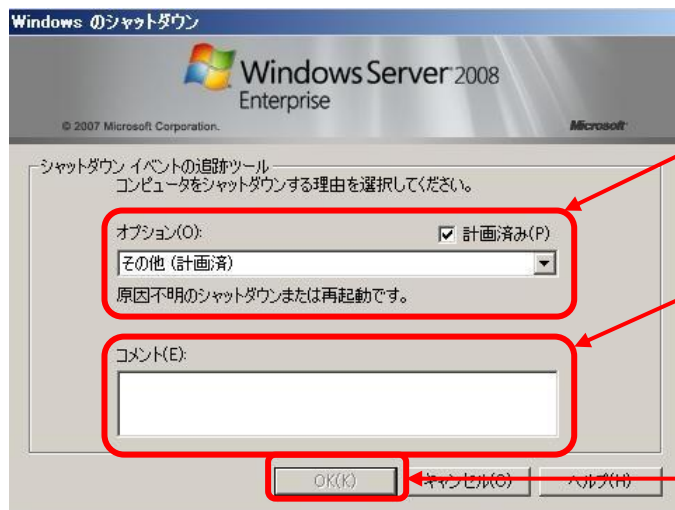
※ 他端末からアクセスが継続していると、シャットダウンできない可能性があります。その場合、RapidServ は
終了しません。ウィンドウが表示されますので、その指示に従ってください。



4. Windows のスタートメニューから[スタート]→[シャットダウン]を選択し、レポートサーバーをシャットダウンします。



オプションにて [その他(計画済)] を選択し、コメントに説明を入力(再起動実行者の名前及び実行日を入力)すると [OK] が選択出来るようになります。[OK] を選択し、シャットダウンが実行します。



- ①オプション:
その他(計画済)を選択します。
- ②コメント:
再起動実行者名と実行日を入力します。
- ③オプションとコメントの操作を行うと、[OK]を選択できるようになります。
[OK]を選択すると、シャットダウンが実行されます。

5. NAS のシャットダウンを行います。

本体前面の電源ボタンを 3 秒間に 2 回押すと、シャットダウンします。
 電源ボタンと液晶ディスプレイが消灯すると完全にシャットダウン状態となります。
 (NAS が複数台ある場合は、各端末に同じ手順を実施してください。)



写真:RSNAS01M/RSNAS01S 外観

※ 無停電電源装置(UPS)が付属している場合は、下記の手順で UPS のシャットダウンを実施してください。

6. NAS 用の無停電電源装置(UPS: RSNAS01M/RSNAS01S)のシャットダウンを行います。

MammoRead DataManager が接続する NAS がすべてシャットダウンされたことを確認してから、NAS 用 UPS のシャットダウンを行います。操作は下記の通りです。

・RSNAS01M/RSNAS01S のシャットダウン(引用:UPS「BR550G-JP」の取扱説明書)

- a) 電源ボタンを押下します。
- b) 本装置から短い警告音が 1 回鳴り、LCD ディスプレイ表示が消灯します。

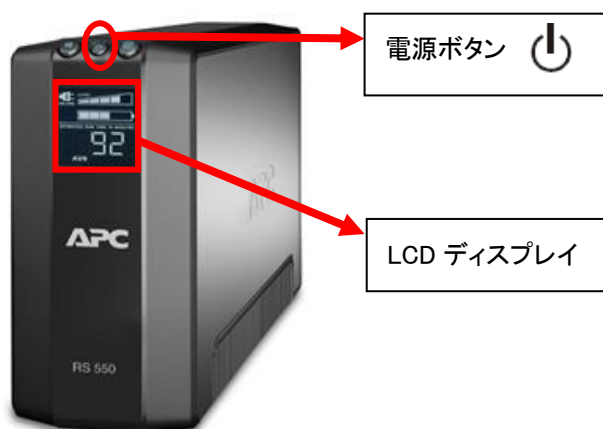


写真:RSNAS01_UPS 外観

7. サーバ PC 用の無停電電源装置(UPS)のシャットダウンを行います。操作は下記の通りです。

・RAPID1_UPS のシャットダウン(引用:UPS「HP T1000J UPS」の取扱説明書)

- a) UPS に接続されている機器の電源が全て切られているか確認します。
- b) 入/切ボタンを 2 秒程押し続けます。UPS はスタンバイモードになります。

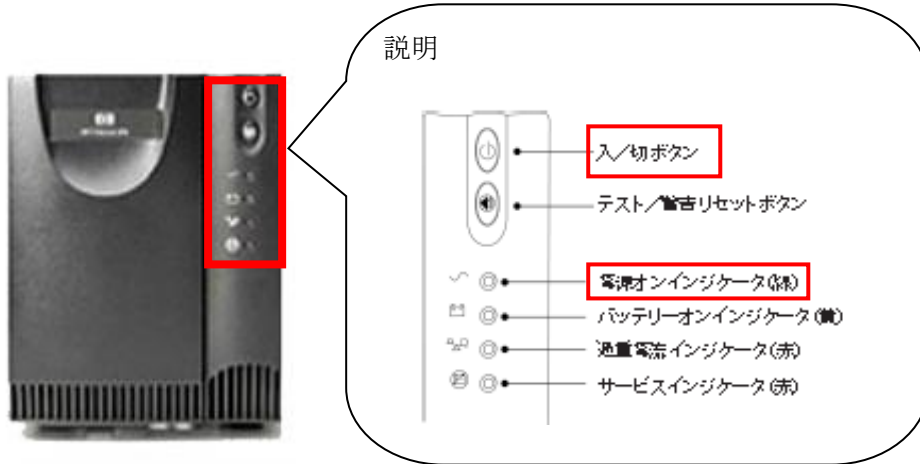


写真:RAPID1_UPS 外観

MammoRead DataManager システム 終了の手順は以上です。

<システム起動方法>

※ DataManager システムを起動する前に、サーバへアクセスすると、予期せぬ不具合を起こすことがあります。
必ず、下記の手順を実施してから(システムを起動してから)、各端末からの接続を確認してください。

1. サーバ PC 用の無停電電源装置(UPS)の起動を行います。操作は下記の通りです。

・RAPID1_UPS の起動(引用:UPS「HP T1000J UPS」の取扱説明書)

- a) UPS の警告音が聞こえるまで ⏻(入/切)を押し続け、UPS の電源を入れます。
- b) 「電源オンインジケータ」が緑色に点灯し、機器に電源が入っていることを確認します。

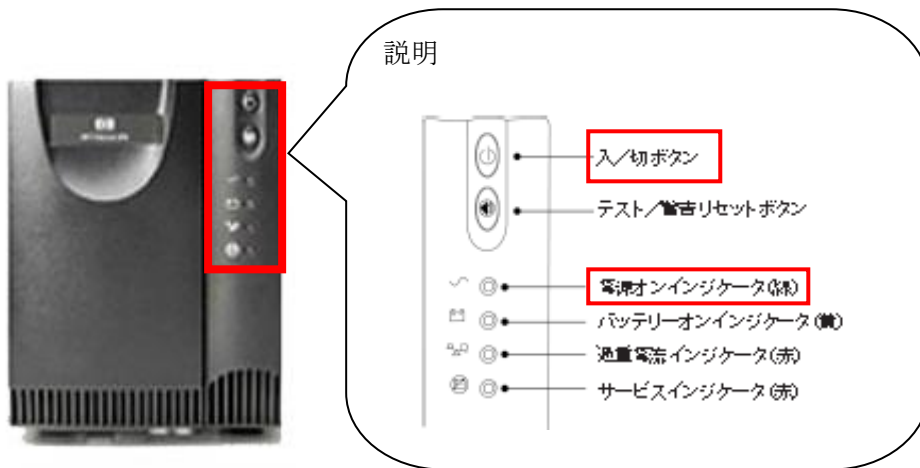


写真:RAPID1_UPS 外観

2. NAS 用の無停電電源装置(UPS)の起動を行います。操作は下記の通りです。

・NAS01/NAS01B の起動(引用:UPS「BR550G-JP」の取扱説明書)

- a) 電源ボタンを押下します。
- b) 本装置から短い警告音が 1 回鳴り、LCD ディスプレイ表示が点灯します。



写真:RSNAS01_UPS 外観

3. NAS の起動を行います。

本体前面の電源ボタンを 1 回押下します。

(NAS が複数台ある場合は、各端末に同じ手順を実施してください。)

※ 電源を ON にするときは、AC ケーブルを接続して 10 秒以上経過してから電源ボタンを押してください。



写真:NAS01/NAS01B 外観

4. サーバを起動します。操作は下記の通りです。

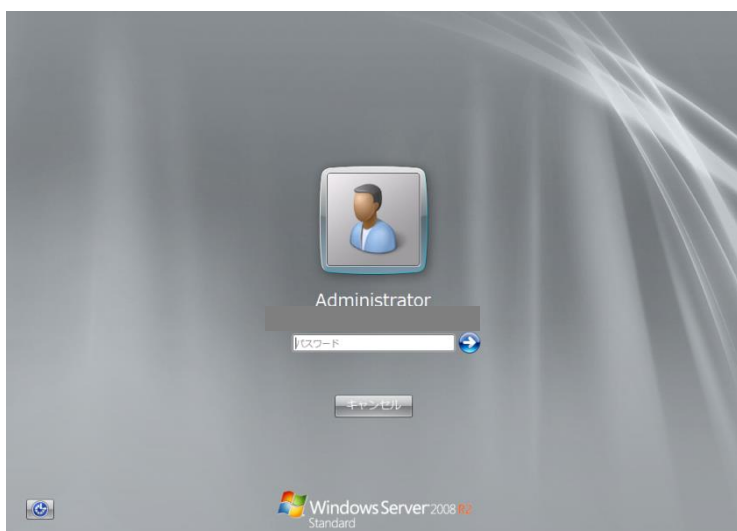
a) サーバ PC の電源ボタンを押下します。



b) 下記の画面が表示されます。指示に従い、キーボードの「Ctrl+Alt+Del」を押下します。



c) 下記の画面が表示されますので、パスワードを入力し、[Enter]ボタンを押下します。
(※パスワードはシステム管理者へお問い合わせください)



d) RapidServ を起動する前に、下記の手順で NAS の起動が完了しているかどうかを確認します。

- ① デスクトップ「BUFFALO NAS Navigator2」のショートカットをダブルクリックします。



- ② 下記の画面が表示されます。

BUFFALO NAS Navigator2 で「RSNAS01M」と「RSNAS01S」が表示されていることを確認します。




※ 画面上にネットワークに接続されている、MammoRead DataManager 以外の BUFFALO NAS 製品が表示されることがあります。名前が「RSNAS」である NAS があることを確認してください。

※ NAS が複数台ある場合、「RSNAS01M、RSNAS02M、RSNAS03M、・・・」「RSNAS01S、RSNAS02S、RSNAS03S、・・・」と、端末数に応じてアイコンが表示されます。

※ 表示されていない場合は、ウィンドウ上部の「更新」ボタンを押下して、リストを更新してください。

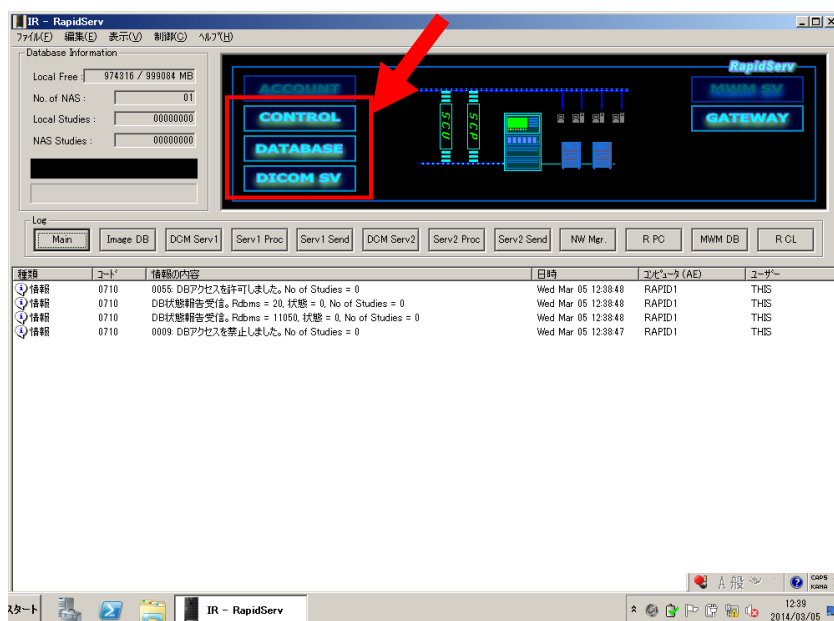
※ NAS の電源を入れているにも関わらず、10 分以上リストに表示されていない場合、何らかのエラーが発生している可能性があります。NAS 本体を確認してください。

※ 異常が発生している場合、当社サポートまでご連絡ください。

e) すべての NAS が起動したことを確認し、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックし、“RapidServ”アプリケーションを起動します。

f) “RapidServ”のメインコンソール画面が表示されますので、画面上部に配置されている「CONTROL」「DATABASE」「DICOM SV」が青く点灯していることを確認します

- ※ 青く点灯するまでに時間がかかる場合があります。
- ※ ご施設のシステム構成によって、「GATEWAY」も青く点灯します。
システム構成は当社サービスまでご確認ください。
- ※ 項目が赤く点灯している場合は、当社サポートまでご連絡ください。



g) MammoRead DataManager システム起動後、下記の動作を確認します。

- 1) モダリティから MammoRead DataManager への画像データ送信 (Storage)
- 2) MammoRead から MammoRead DataManager への Q/R

以上で、DataManager 起動の手順は終了です。